

安全データシート

作成日：2025/2/13

改定日：2025/3/26

1 化学品及び会社情報

化学品の名称：シークス リキッド リネン
JANコード：4976363139656
供給者の会社名称：晴香堂株式会社
住所：奈良県磯城郡三宅町413-2
電話番号：0745-43-1181
ファクシミリ番号：0745-43-1188
推奨用途及び使用上の制限
推奨用途：自動車用芳香剤
使用上の制限：用途外への使用は推奨しない

2 危険有害性の要約

GHS分類：

引火性液体：区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分2A
発がん性：区分1A
生殖毒性：区分1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分1（肝臓）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分2（中枢神経系）
水生環境有害性 短期（急性）：区分2
水生環境有害性 長期（慢性）：区分3
生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響)：追加区分

GHSラベル要素：

絵表示



注意喚起語：危険

危険有害性情報：

- ・ 引火性液体及び蒸気。
- ・ 強い眼刺激。
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ。
- ・ 眠気又はめまいのおそれ。
- ・ 発がんのおそれ。
- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
- ・ 授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肝臓）。
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）。
- ・ 水生生物に毒性。
- ・ 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き：

【安全対策】

- ・使用前にSDSを入手すること。
- ・ご使用の前にSDSをお読みください。
- ・熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後は手.をよく洗うこと。
- ・屋外または換気の良い場所でだけ使用すること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水[又はシャワー]で洗うこと。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

【廃棄】

- ・残余内容物/容器は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
一般名： 香料関連品
成分および含有量：

成分名	濃度 %	CAS No.	PRTR種類	労働安全衛生法-通知義務	毒物及び劇物取締法	化審法整理番号	化審法対象物質
アルファーアルキル-オメガーヒドロキシポリ（オキシエタン-1， 2ージイル）	0～5%	9004-98-2	第15項を参照				
エタノール	23.75%	64-17-5		●			
ゲラニオール	0.26%	106-24-1	第15項を参照				
スルホコハク酸ジ-2ーエチルヘキシルN a 塩	0～5%	577-11-7				2-1620	優先評価化学物質
リナロール	0～5%	78-70-6					

4 応急措置

- 吸入した場合：
- 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体の保温に努める。 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：
- 多量の水と石けんで洗うこと。必要に応じて医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合：
- 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。
- 飲み込んだ場合：
- 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

適切な消火剤：水噴霧、砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等

使ってはいけない消火剤：データなし

特有の消火方法：

消火剤を火元へ放射、散布等して消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火作業者への保護具：

適切な保護具を使用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業の際、吸入や皮膚に触れない様、適切な保護具を着用し、換気をよくして処理する。

環境に対する注意事項：

製品が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように留意する。

除去方法：

不燃性吸収剤に吸収させて回収し、多量の水で薄める。更にビニール袋に入れて密封する。

二次災害の防止策：

付近にある着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行う。 火気厳禁。電気機器類、静電気等のスパークなどによる着火源を生じないようにする。

安全取扱注意事項：

ばく露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。取扱い後は十分に手洗いをする。

保管

安全な保管条件：

適切な換気のある乾燥した暗所（又は指定の場所）に密栓して保管する。消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

安全な容器包装材料：

データなし

8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

ばく露限界値：

成分	CAS NO.	国	許容濃度		最大許容濃度		管理濃度	
			mg/m3	ppm	mg/m3	ppm	mg/m3	ppm
データなし								

ばく露制御

設備対策

取扱いの際は、全体換気を行う。

個人用保護具

呼吸器の保護具：保護マスク

手の保護具：保護手袋
目の保護具：保護眼鏡
皮膚及び体の保護具：保護服（長袖作業服等）

9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	透明 淡黄色
臭い	特有の香気
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
爆発下限界・爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	32.5℃
pH	5.8±0.5
溶解度	水溶性
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	0.97（20℃）

10 安定性及び反応性

反応性：	データなし
化学的安定性：	データなし
危険有害反応可能性：	データなし
避けるべき条件：	データなし
危険有害な分解生成物：	データなし

11 有害性情報

毒性学的影響に対する情報：

急性毒性 経口
クマリン(区分4) /ベータ-フェニルエチルアルコール(区分4)
急性毒性 経皮
ベータ-フェニルエチルアルコール(区分3)LD50 805mg/kg
皮膚腐食性/刺激性
リナロール(区分2) /ゲラニオール (区分2) /酢酸リナリル(区分2) /2-メチルー3-（p-イソプロピルフェニル）プロピオンアルデヒド(区分2) /3-（4-tert-ブチルフェニル）プロパナール(区分2) /スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルNa塩(区分2)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
リナロール(区分2A) /ベータ-フェニルエチルアルコール(区分2A) /スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルNa塩(区分2A) /エタノール(区分2B)

皮膚感作性
リナロール(区分1) /ゲラニオール (区分1) /1-（2, 3, 8, 8-テトラメチルー1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8-オクタヒドロナフタレン-2-イル）エタノー1-オン(区分1) /酢酸リナリル(区分1) /2-メチルー3-（p-イソプロピルフェニル）プロピオンアルデヒド(区分1) /3-（4-tert-ブチルフェニル）プロパナール(区分1)
発がん性
エタノール(区分1A)
生殖毒性
リナロール(区分2) /2-メチルー3-（p-イソプロピルフェニル）プロピオンアルデヒド(区分1B) /ベータ-フェニルエチルアルコール(区分2) /スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルNa塩(区分2) /エタノール(区分1A)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）
リナロール(区分3（麻酔作用））/ゲラニオール（区分3（麻酔作用））/メチル（2－ペンチル－3－オキソーシクロペンチル）アセテート(区分3（気道刺激性））/酢酸リナリル(区分3（麻酔作用））/3－（4－t e r t－ブチルフェニル）プロパナール(区分3（麻酔作用））/ベータ－フェニルエチルアルコール(区分2）/ベータ－フェニルエチルアルコール(区分3（麻酔作用））/プロパン－1，2－ジオール(区分1）/プロパン－1，2－ジオール(区分3（麻酔作用））/エタノール(区分3（気道刺激性））/エタノール(区分3（麻酔作用））
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
クマリン(区分2）/プロパン－1，2－ジオール(区分1）/エタノール(区分1）/エタノール(区分2）

物理的、化学的及び毒性学的特性に関する症状
経口摂取の場合：
データなし
皮膚接触の場合：
データなし
吸入した場合：
データなし
追加他情報：
データなし

12 環境影響情報

生態毒性：データなし
残留性・分解性：データなし
生体蓄積性：データなし
土壌中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし
追加環境毒性学情報：データなし

13 廃棄上の注意

残余内容物、容器、包装等は、産業廃棄物として適正に処分する。

14 輸送上の注意

国連番号
陸上輸送（ADR/RID）1266
内陸水運（ADN）1266
海上輸送（IMDG）1266
航空輸送（ICAO-TI / IATA-DGR）1266
国連輸送名
陸上輸送（ADR/RID）Perfumery products
内陸水運（ADN）Perfumery products
海上輸送（IMDG）Perfumery products
航空輸送（ICAO-TI / IATA-DGR）Perfumery products
国連分類
陸上輸送（ADR/RID）3
内陸水運（ADN）3
海上輸送（IMDG）3
航空輸送（ICAO-TI / IATA-DGR）3

容器等級		
陸上輸送（ADR/RID）	III	
内陸水運（ADN）	III	
海上輸送（IMDG）	III	
航空輸送（ICAO-TI / IATA-DGR）	III	
海洋汚染物質	非該当	

国内規則がある場合の規制情報

- 陸上輸送： 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。
- 海上輸送： 船舶安全法、港則法に従う。
- 航空輸送： 航空法に従う。

15 適用法令

- 毒物及び劇物取締法：
本製品は毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物には該当していない。
- 労働安全衛生法第五十七条 表示物質：
エタノール；
- 労働安全衛生法第五十七条の二 通知物質：
エタノール；
- 労働安全衛生法第五十七条 表示物質(令和7年以降施行分)：
該当せず
- 労働安全衛生法第五十七条の二 通知物質(令和7年以降施行分)：
リナロール(2025/04/01施行)；ゲラニオール（2025/04/01施行）；スルホコハク酸ジ
ー２－エチルヘキシルN a 塩(2026/04/01施行)；
- 労働安全衛規則第577条の2第3項に基づくがん原性物質：
該当せず
- 労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則：
該当せず
- 労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則：
該当せず
- 労働安全衛生法 がん原性に係る指针对象物質：
該当せず
- 労働安全衛生法 強い変異原性が認められた化学物質：
該当せず
- 労働安全衛生法 鉛・四アルキル鉛中毒予防規則：
該当せず
- 労働安全衛生規則第577条の2第2項に基づく濃度基準：
該当せず
- 労働安全衛生規則第 594 条の2第1項に規定する皮膚等障害化学物質：

該当せず

化学物質管理促進法（PRTR）：

第一種 アルファーアルキル－オメガーヒドロキシポリ（オキシエタン－1，2－ジイル）（アルキル基の炭素数が16から18までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1，000未満のものに限る。）及びアルファーアルケニル－オメガーヒドロキシポリ（オキシエタン－1，2－ジイル）（アルケニル基の炭素数が16から18までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1，000未満のものに限る。）並びにこれらの混合物

消防法：

危険物：危険物第四類 第二石油類 水溶性 危険等級Ⅲ

化審法：

優先評価化学物質：

プロパン－1，2－ジオール 2-234；スルホコハク酸ジ－2－エチルヘキシルNa塩 2-1620；ヘプタン酸アリル 2-759；1，4－ジオキサシクロヘプタデカン－5，17－ジオン 5-1104；1－（2，3，8，8－テトラメチル－1，2，3，4，5，6，7，8－オクタヒドロナフタレン－2－イル）エタン－1－オン 4-1911；

危険物船舶運送及び貯蔵規則：

引火性液体類 3

航空法施行規則：

引火性液体 3

16 その他の情報**参考文献：**

JIS Z 7253-2019_GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル・作業場内の表示及び安全データシート（SDS）、JIS Z 7252-2019_GHSに基づく化学物質等の分類方法、Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals(GHS) 6th revised edition by UNITED NATIONS、緊急時応急措置指針「ERG 2016版」容器イエローカードへの適用、経済産業省発行事業者向けGHS分類ガイダンス平成25年7月、独立行政法人製品評価技術基盤機構監修のGHS分類物質一覧、一般財団法人化学物質評価研究機構（CERI）公開の化学物質ハザードデータ集。

責任の限定について：

記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特別な手扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。